

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

【カルチャーホール】

クリスマス・チャリティーコンサート

今年は札幌から「くるまる」という2人組と当別の「ダンスグループDDD」をお迎えして開催します。

▼日時 12月15日(土) 14時～16時

▼入場料 高校生以上500円、中学生以下無料

▼問合せ 当別町地域活動支援センター (☎22-2685)

ポイントカード会

▼日時 平成25年1月2日(水)・3日(木)

13時～17時

▼内容 現金つかみどり、ガラガラ抽選会とポイントカード会加盟店による福袋の販売があります。

▼問合せ 商工会 (☎23-2447)

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔12月のギャラリー〕

冬の贈り物 Part2

▼日程 12月1日(土)～24日(月)

▼内容 当別を拠点に活動される作家の心あたたまる作品が集います。期間中、リース、フェルト作品などを展示販売致します。

〔12月のイベント〕

クリスマスリース1dayレッスン

▼日時 12月7日(金) 13時30分～15時

▼内容 フレッシュな針葉樹に様々な実ものを使って作るナチュラルリースです。

講師：フラワーコーディネーター 斎藤祥子氏

▼参加料 1,000円 ▼定員 15名

▼申込期限 12月5日(水) 正午

▼問合せ FIKA (☎27-5388)

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎27-6600)

FIKA (☎27-5388) 商工課 (☎23-3129)

年末年始について

■ ふれあい倉庫

休館日：12月28日(金)～平成25年1月7日(月)

※1月2,3日はポイントカード会のため開館します。

■ FIKA

休館日：12月28日(金)～平成25年1月6日(日)

JR石狩当別駅前南口駐車場について

駐車場はふれあい倉庫開館時間の9時から19時まで使用できます。夜間の駐車は除雪作業などに支障が出ますので、ご遠慮願います。

続

町長の日記

平成24年11月23日(金)

今日は60年も昔の事を思い出した。

昭和26年に当別市街で大火災があった。

新篠津、月形それに江別、札幌からまで消防車が応援にきてくれたが、当時は消火栓が無くて市街を流れるパンケ川を止めても水量が足りなくて火はどんどん広がり、27戸が全焼した。

町は罹災者対策のため臨時議会を開いた。

住民は飲料水は共用の井戸水で我慢していたが、この時から消火栓の必要性を痛感した。

町は翌年、早速、地下水による2,000人規模の簡易水道を計画したが、滅菌するだけの水道水でも、毎日、何十mもバケツで運んでいた市街地の主婦にとって、夢のような水道はたちまち不足になり、町は昭和38年に道の許可範囲で8,000人規模で市街地の上下水道計画を立てた。

その後、全町的に水道の希望が増えて町は2万人の上下水道計画を立てたが、当別川は土地改良区が水田に使う権利を持っていて、とても水道に廻す余裕がないので水源を新たに開発するため、ダムを作らなければ水道事業は許可されなかったのである。

そこで当別町は昭和48年に国と道にダムを作る確約をして、今日まで不自由な暫定水利権で当別川の水を使用させてもらってきたのである。

そして今年総事業費684億円のダムが完成した。

そのダムから取水するための当別・札幌・石狩・小樽で共同の浄水場は504億円かかった。

その浄水場の当別の負担金13億円は町で全額支払う事にしているが、問題は町内の配水池や高台に配水するためのポンプの設備費や水圧が弱い地区の水道管を太くする費用、古い水道管の更新などに36億円かかり、水道事業で年間2億2,600万円返済しなければならない。

そこで、私は2億2,600万円の内、1億9,000万円くらいは町が負担をして残りの3,600万円くらいを町民が1トン当たり20円前後負担していただく案を議会で審議していただこうと思っている。

新聞に札幌や当別が人口想定が狂ったので水道料金が上がると書いていたが、実際はダムの負担ではなく水道施設の老朽化によるものである。

この町の将来の人々の為に安全でおいしい水を確保したいと考え、ダムをつくる決断をされ推進し完成を見ずに他界された歴代3人の町長の名誉の為、私はどうしても本当の事を日記に書いておきたい。

当別町長泉亭俊彦